

平成 27 年度（第 3 回）教科担当教員中央会議 議事録

日 時：平成 27 年 11 月 16 日（月） 14：00～16：30

場 所：日本薬学会長井記念館 1 階 B 会議室

出席者：別記 1

配付書類：別記 2

○委員長および副委員長の選出、出席者の自己紹介

本会議の委員長と副委員長の選出について、推薦はなかったため、委員長に医薬品情報学教科担当教員会議の後藤伸之委員（名城大学）、副委員長にヒューマニティ関連教科担当教員会議の石川さと子委員（慶應義塾大学）はどうかと望月代表理事から提案があり、全員異議なく提案を承認した。議事進行は後藤委員長が務めることになった。続いて、出席者が簡単な自己紹介を行った。

1. 平成 26 年度、27 年度各教科担当教員会議の活動報告

平成 26 年度および 27 年度教科担当教員会議について各教科の委員が以下の通り報告した。

【有機化学系教科担当教員会議】春沢 信哉 委員（大阪薬科大学）

資料 2-1（有機化学系教科担当教員会議議事録）、資料 2-2（アンケート）に基づき、春沢委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・「有機化学教育（講義、実習、研究）の活性化に向けての各大学の取り組み」と題して会議を行った。
- ・特別講演、改訂モデル・コアカリキュラムについてのアンケートの調査報告、パネルディスカッションを行った。

（本中央委員会での質疑応答）

「医薬品の化学構造と性質」に関する授業にどのような対応をしているかとの質問があり、他分野の教員が連携して取り組んでいると春沢委員が回答した。また、名城大学が「薬物治療」において統合型の授業を行っていることについて、後藤委員長が補足説明をした。このような取り組みは大変参考になるので、テキスト等出してほしいと須田業務執行理事が発言した。

【生薬学・天然物化学教科担当教員会議】齊藤 和季 委員（千葉大学薬学部）

資料 3（生薬学・天然物化学教科担当教員会議議事録）に基づき、齊藤委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・改訂モデル・コアカリキュラムについてのアンケートは、昨年度実施し報告している。
- ・「医療薬学から生薬学・天然物化学教科担当者へ期待すること」と題して話題提供があった。
- ・薬科学科カリキュラムの標準化（薬科学科参照基準について）への動きがある。
- ・日本東洋医学サミット会議、日本学術会議関係等の各種報告を行った。

（本中央委員会での質疑応答）

漢方と薬理の連携について質問があった。昨年も問題になったが、例えば医療薬学関係で実際に使用している製剤や副作用についてカバーすることは難しい。どのように連携するか今後の課題であると齊藤委員が答えた。

【物理化学系教科担当教員会議】

大久保忠恭委員（大阪大学薬学部、松崎勝巳委員長（京都大学）の代理）は欠席であり、議事録等の提出はなかった。

【分析化学系教科担当教員会議】宇野 公之 委員（大阪大学薬学部）

資料 4-1（分析化学系教科担当教員会議議事録）、資料 4-2（アンケート）に基づき、宇野委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・改訂モデル・コアカリキュラム対応についてのアンケートを実施し、ほぼ全ての大学は現行科目で概ね対応できるとの回答があった。一部の内容については分析化学系以外の科目との合併により対応する大学もあった。
- ・アドバンストの内容、取り扱いは各大学で苦労しているところだが、大学院の授業を受講するという取り組みをしている大学もある。

【病態・薬物治療等教科担当教員会議】

河野武幸委員（摂南大学薬学部）欠席のため、資料 5（病態・薬物治療等教科担当委員会議事録）を参照。

【薬理学関連教科担当教員会議】伊藤 芳久 委員（日本大学薬学部）

資料 6-1（薬理学関連教科担当教員会議議事録）、資料 6-2（アンケート）に基づき、伊藤委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・改訂モデル・コアカリキュラムについてのアンケート調査報告、特別講演等を行った。
- ・アンケートの結果、薬理、病態、薬物治療の「統合型講義」を始めた大学や、病態と薬物治療は一つの講義として行っている大学があり、統合型に向かっている印象であった。

【薬剤学教科担当教員会議】藤田 卓也 委員（立命館大学薬学部）

資料 7（薬剤学教科担当教員会議議事録）に基づき、藤田委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・「薬剤学・薬物動態学の研究・教育を振り返って」「薬事行政をめぐる最近の話題」と題した特別講演、第 100 回薬剤師国家試験についての報告等を行った。

【日本薬局方教科担当教員会議】藤田 卓也 委員（立命館大学薬学部）

資料 8（日本薬局方教科担当教員会議議事録）に基づき、藤田委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・改訂モデル・コアカリキュラムを実施するにあたり、日本薬局方の内容を講義・実習等で組み込んでいくための取り組みを出席者に 1 分程度お話いただいた。
- ・会議参加者は、約半数が分析・物理化学系、1/3 が薬剤系、他が有機系・生物系の先生方であった。
- ・「日本薬局方（概論）」を講義科目として採用している大学は、参加大学の半分弱であった。また、講義科目から無くす大学も 10 校程度あった。
- ・E 5「製剤化のサイエンス」では、通則、製剤総則、一般試験法などを含めて学ぶ必要があると思われるが、どの SBOs にも「日本薬局方」の記載がないことは大きな問題である。
- ・「第 17 改正日本薬局方と最近の薬事行政をめぐる話題」と題して特別講演が行われた。

(本中央委員会での質疑応答)

今後コアカリに反映されるようなアプローチはしているのかとの質問に、今回は特に議論していないが、科目を設置するとどうしてもオムニバスになってしまうので、大学で調整する必要が出てくる。しかし次の改訂の際には日本薬局方をもう少し重視し、中項目としてコアカリに入れて欲しいと希望する教員が多いと藤田委員が回答した。

【実務実習教科担当教員会議】野田 幸裕 委員 (名城大学薬学部)

実務実習教科担当教員会議について、野田委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・今年度も教科担当教員会議は開催していない。臨床系教員連絡会議(登録会員約 600 名)にて実務実習を含む関連教科に関わる事項を協議している。今後は臨床系教員連絡会と協同あるいは統合して教科担当教員会議を進めていきたいと考えている。

【ヒューマニティ関連教科担当教員会議】石川 さと子 委員 (慶應義塾大学薬学部)

資料 9-1 (ヒューマニティ関連教科担当教員会議議事録)に基づき、石川委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・「医療人養成のための薬学教育に必要なコミュニケーション教育および心理学・行動科学教育」と題して実施されたワークショップの報告、文部科学省からの委託事業として日本薬学会が行っている調査研究について報告を行った。
- ・アンケートは継続して実施している。今回は特に改訂モデル・コアカリキュラムについてアンケートを実施した。
- ・パフォーマンス評価や態度の具体的な評価方法が決まっておらず、今後の検討課題である。態度評価に関する各大学の取り組みを情報共有できる仕組みを検討中である。
- ・4月に世話人会を開催し、会議の名称を「ヒューマニティ・コミュニケーション教科担当教員会議」から「ヒューマニティ関連教科担当教員会議」に変更することを決めた。また、適切な教員に出席してもらうためキーワードを設定し、薬学教育協議会から各大学へ通知した。

【薬学と社会教科担当教員会議】中村 武夫 委員 (近畿大学薬学部)

資料 10 (薬学と社会教科担当教員会議議事録)に基づき、中村委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・「最近の薬事行政について」と題した講演が厚生労働省関係者より行われた。
- ・『改訂コアカリ「B 薬学と社会」を効果的に実施するために』に関して、「レギュラトリーサイエンスに係る教材の提案」と題した話題提供が行われた。レギュラトリーサイエンスとは何かについて十分な理解が得られていない。
- ・レギュラトリーサイエンスをどのように薬学教育に反映させるか難しいところである。

【衛生薬学教科担当教員会議】

藤本陽子委員(大阪薬科大学)が欠席のため、資料 11-1 (衛生薬学教科担当委員会議事録)、資料 11-2 (アンケート)を参照。

【放射薬学教科担当教員会議】佐治 英郎 委員（京都大学薬学部）

資料 12（放射薬学教科担当教員会議議事録）に基づき、佐治委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・改訂モデル・コアカリキュラムについてアンケートを実施したところ、実習に関しては、実施する予定が 64%、実施の予定がない大学が 34%であった。実施の予定がない大学での実施しない理由については、カリキュラムに余裕がない、SBO に実習の項目がない、施設がないなどが主なものであった。

（本中央委員会で出された意見）

実習に関して、題材を選べば通常の実習室でも実習可能という意見が出た。

【微生物学教科担当教員会議】供田 洋 委員（北里大学薬学部）

資料 13-1（微生物学教科担当教員会議議事録）、資料 13-2 に基づき、供田委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・コアカリ改訂に関するアンケート調査結果の報告、会則について等の協議を行った。
- ・コアカリ改正に伴う科目・単位数の変更はしない大学の方多い。
- ・事務局は毎年の持ち回りよりも一定期間固定した方がよいのではないかと提案があった。
- ・薬学部における大学院教育について意見交換された。

【医薬品情報学教科担当教員会議】後藤 伸之 委員（名城大学薬学部）

資料 14-1（医薬品情報学教科担当教員会議議事録）、資料 14-2（アンケート）に基づき、後藤委員が報告した。概要は以下の通り。

- ・「医薬品情報学関連領域とは」「医薬品情報学関連領域における知識習得度の評価について」をテーマに、グループ討論を行った。
- ・出席者は、得意な領域から一人一問、問題を作成してもらいそれを基にグループ討論を行った。
- ・改訂コアカリに関するアンケート調査報告を行った。

（本中央委員会で出された意見）

生物統計を担当する大学教員が少ないので養成する必要があるとの指摘があった。

2. 教科担当教員会議の在り方

＜教科担当教員会議の名簿について＞

教科担当教員会議の名簿は、薬学教育協議会が発行する薬学教員名簿に記載されているが、発行は毎年 8 月である。できればもう少し早い時期に名簿が欲しいとの要望があった。これについては、調査を 5 月に早め、6 月頃各教科担当教員会議の委員長にお知らせすることになった。

また、名簿に名前が記載されていても、自分が委員であることを知らない教員もいるため、各大学において周知が必要である。

＜教科担当教員会議での国家試験の出題内容検討について＞

いくつかの教科担当教員会議では薬剤師国家試験の出題内容について検討している。教科担当教員会議では薬剤師国家試験内容について取り扱わないことになっているが、議論を封じるとあまり良い方向に行かないのではないかと意見もあった。個別の問題は議論しない、主たる議論にはしないことを申し合わせた。

<今後について>

教科担当教員会議から出された意見を薬学教育協議会薬学カリキュラム検討委員会で検討し、今後の個々のカリキュラム、および次期の改訂モデル・コアカリキュラムに生かしていきたいと望月代表理事が発言した。

以上

別記1 平成27年度（第3回）教科担当教員中央会議 出席者名簿

	氏名（敬称略）	大学名	出欠
有機化学系教科担当教員会議	春沢 信哉	大阪薬科大学	○
生薬学・天然物化学教科担当教員会議	齊藤 和季	千葉大学薬学部	○
物理化学系教科担当教員会議	松崎 勝巳	京都大学薬学部	欠
分析化学系教科担当教員会議	本間 浩	北里大学薬学部	欠
	宇野 公之	大阪大学薬学部	代理
病態・薬物治療等教科担当教員会議	河野 武幸	摂南大学薬学部	○
薬理学関連教科担当教員会議	伊藤 芳久	日本大学薬学部	○
薬剤学教科担当教員会議	藤田 卓也	立命館大学薬学部	○
日本薬局方教科担当教員会議			
実務実習教科担当教員会議	木津 純子	慶應義塾大学薬学部	欠
	野田 幸裕	名城大学薬学部	代理
ヒューマニティ関連教科担当教員会議	石川 さと子	慶應義塾大学薬学部	○
薬学と社会教科担当教員会議	中村 武夫	近畿大学薬学部	○
衛生薬学教科担当教員会議	藤本 陽子	大阪薬科大学	欠
放射薬学教科担当教員会議	佐治 英郎	京都大学薬学部	○
微生物学教科担当教員会議	供田 洋	北里大学薬学部	○
医薬品情報学教科担当教員会議	後藤 伸之	名城大学薬学部	○
一般社団法人 薬学教育協議会	伊藤 智夫	（業務執行理事）	○
	須田 晃治	（業務執行理事）	○
	望月 正隆	（代表理事）	○
	阿刀田 英子	（事務局長）	○

別記 2 配付資料

- 資料 1： 平成 26・27 年度開催状況
- 資料 2-1： 有機化学系教科担当教員会議 議事録 (H27.10.25)
- 資料 2-2： " アンケート
- 資料 3： 生薬学・天然物化学教科担当教員会議 議事録 (H27.9.10)
- 資料 4-1： 分析化学系教科担当教員会議 議事録 (H27.3.28)
- 資料 4-2： " アンケート
- 資料 5： 病態・薬物治療等教科担当教員会議 議事録 (H27.3.28)
- 資料 6-1： 薬理学教科担当教員会議 議事録 (H27.8.27)
- 資料 6-2： " アンケート
- 資料 7： 薬剤学教科担当教員会議 議事録 (H27.8.28)
- 資料 8： 日本薬局方教科担当教員会議 議事録 (H27.11.7)
- 資料 9-1： ヒューマニティ関連教科担当教員会議 議事録 (H27.3.27)
- 資料 9-2： " アンケート
- 資料 10： 薬学と社会教科担当教員会議 議事録 (H27.10.24)
- 資料 11-1： 衛生薬学教科担当教員会議 議事録 (H27.2.27)
- 資料 11-2： " アンケート
- 資料 12： 放射薬学教科担当教員会議 議事録 (H27.3.28)
- 資料 13-1： 微生物学教科担当教員会議 議事録 (H27.3.25)
- 資料 13-2： " アンケート
- 資料 14-1： 医薬品情報学教科担当教員会議 議事録(H27.6.26)
- 資料 14-2： " アンケート
- 平成 26 年度 (第 2 回) 教科担当中央会議議事録